

令和8年度 宮城県佐沼高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる			もどめる	はたす	かかわる			もどめる	はたす	かかわる			もどめる	はたす										
各教科指導目標	国語			○	○		地理歴史			○	◎	○	公民			○	◎	○	数学			○	○		理科			○	○	
	社会人として必要とされる言語能力の基礎を養うため、国語を適切に表現する能力と的確に理解する能力を育成する。さらにそれらを基盤として「伝え合う力」を高める。					日本並びに諸外国の歴史や地理を学ぶ中で、それぞれの培ってきた文化や風土を理解し、国際社会に積極的に貢献できる資質を養う。					複雑化した現代社会に適切に対処できる資質を養うために、社会科学全般を連関させ、物事を客観的に捉え、正しく行動できる生徒の育成を図る。					数学的活動を通して、論理的に考え続ける力、判断力、表現力及び豊かな感性を養うとともに他者とのコミュニケーションを通して、客観的、論理的に物事を説明できる力を育成する。					観察実験や基本的概念の理解を通して、理科の見方・考え方を養い、社会の科学的事象を多角的に推察・探究・分析する能力を育成する。									
	保健体育			○		◎	芸術			○	○		外国語			○	○		家庭			○	◎	○	情報			○	◎	○
	現代の様々な健康問題を自分のこととして捉え、生涯にわたり自ら進んで運動に親しむことができ、明るく豊かで活力に満ちた人生をおくる態度や能力を養う。					芸術の様々な幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てると共に、豊かな情操や感性を養う。					基礎的な英語力を身に付け、英語で書かれた多種多様な文章や考え方に触れることで、異文化を理解する心を養う。また、国際的な視野を持ち、英語で積極的にコミュニケーションをとることのできる生徒を育成する。					生活に必要な知識と技術を習得させ、男女共同参画社会の実現を目指し、協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。					コンピュータに触れながら、「情報」についての基本的な知識と考え方を学び、「自分で考え、自分なりの答えを導く」という問題解決の能力を身に付け、情報化社会を『生き抜く力』を養う。									
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標																					
指導内容	挨拶と身だしなみの徹底					◎	○		1年	○新しい環境に適応すると共に、他者の価値観や個性を尊重し望ましい人間関係を構築する。 ○新たな環境の中で自らの役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ○様々な情報を収集し、自分の将来について方向性を見出す。																				
	家庭学習時間の確保						◎	○		○学習活動を通して自らの勤労観、職業観についての価値観の形成を図る。 ○自己の職業的な能力適性を理解し、将来設計を図る。 ○進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、検討する。																				
	清掃活動の徹底					○		◎	2年	○自分の能力・適性の判断を基に、卒業後の進路を決定する。 ○進路実現のために取り組むべき課題を見極め、日々の努力を積み重ねる。 ○自ら学習計画を立て実行するなど、卒業後の学習・生活を見据え、自立に向けた生活習慣の確立を意識する。																				
指導内容						ねらい					指導教科等			実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす												
1年	地域課題研究					地域が抱えている諸課題に目を向け、調査研究・考察を行い、地域理解を図る。					総合探究			4月～3月	33	◎	◎	○												
	Sanuma Summer Univ.					大学の研究の一端に触れることで、学びに対する視野を広げる。					その他			7月	3		◎													
	進路講話					スタディーサポートの結果の見方から、自分の結果を客観的に分析し、外部模試への意欲を高める。					総合探究			10月	1	◎	○													
	小論文講演会					小論文の書き方やトレンドを知ることにより、現代社会の情勢や課題について視野を広げる。					総合探究			12月	2	◎	○													
	先輩に聞く					3年生と卒業生の経験談を聞き、自分の進路希望達成に繋げる。					総合探究			1月・3月	4	○	○													
2年	課題研究					現代社会の現状と地域の課題解決を視野に入れて調査・研究を進め、考察を深める。					総合探究			4月～3月	32	○	◎	◎												
	進路講話					スタディーサポートの結果の見方から、自分の結果を客観的に分析し、外部模試への意欲を高める。					総合探究			10月	1	○	◎													
	小論文講演会					小論文のトレンドや実際の入試問題に触れることで、現代社会の情勢や課題について理解を深める。					総合探究			12月	2	○	◎													
	先輩に聞く					3年生と卒業生の経験談を聞き、自分の進路希望達成に繋げる。					総合探究			1月・3月	4	○	○													
3年	課題研究					地域の抱えている諸課題と現代社会の課題を比較対称しながら調査研究・考察を行い、地域社会に対する提言を行う。					総合探究			4月～9月	14	◎	○	◎												
	進路別ガイダンス					個々の進路に合わせた具体的な説明により、進路意識の高揚を図るとともに、個々の現状となすべきことを確認させる。					総合探究			6月～1月	3	○	◎													
	進路別プランニング					個々の進路に合わせて、志望校や職種の実験科目や面接の質問項目などを確認させ、個々の目標達成までの進路と課題を見通させる。					総合探究			9月～12月	9		◎	◎												
												合計時数		108																